Information-technology Promotion Agency, Japan

プレスリリース
2011 年 10 月 28 日
独立行政法人情報処理推進機構
セキュリティセンター

複数の D-Link 製品におけるセキュリティ上の弱点（脆弱性）の注意喚起

IPA（独立行政法人情報処理推進機構、理事長：藤江　一正）は、複数の D-Link 製品におけるセキュリティ上の弱点（脆弱（ぜいじゃく）性）に関する注意喚起を、2011 年 10 月 28 日に公表しました。対策方法は**「最新版のファームウェアへアップデートする」**ことまたは**「SSH 機能を無効にする」**ことです。

1. 概要

D-Link 社が提供する「DES-3800 シリーズ」、「DWL-2100AP」および「DWL-3200AP」は無線 LAN アクセスポイントなどのネットワーク機器です。

これらの製品には、SSH の実装に問題があるため、バッファオーバーフローというセキュリティ上の弱点（脆弱性）が存在します。この弱点が悪用されると、対象機器のサービスを停止されたり、対象機器において任意のコードを実行されたりする可能性があります。

下記のサイトから修正済みバージョンを入手して、更新してください。

http://www.dlink-jp.com/page/sc/F/security_info.html

最新情報は、次の URL を参照下さい。

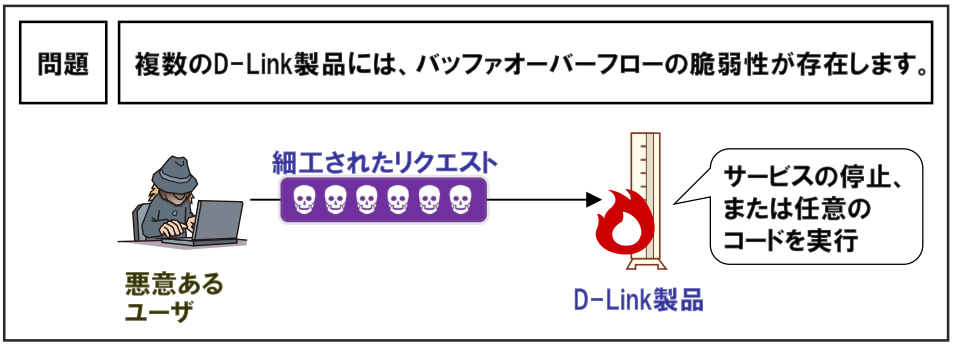
http://jvndb.jvn.jp/jvndb/JVNDB-2011-000092

本脆弱性情報は、情報セキュリティ早期警戒パートナーシップに基づき、以下の報告者から IPA が届出を受け、JPCERT/CC（一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター）が製品開発者と調整を行ない、2011 年 10 月 28 日に公表したものです。

報告者：株式会社富士通研究所　兒島　尚　氏、中田　正弘　氏（2011 年 8 月 4 日届出）

2. 脆弱性による影響

D-Link 製品のサービスを停止される、または任意のコードを実行される可能性があります。



3. 対策方法

対策方法は**「最新版のファームウェアへアップデートする」**こと**または「SSH 機能を無効にする」**ことです。

4. 本脆弱性の深刻度(*1)

(1)評価結果

本脆弱性の深刻度 (CVSS(*2)基本値の範囲)	□ レベル I(注意) (0.0～3.9)	□ レベル II(警告) (4.0～6.9)	■ レベル III(危険) (7.0～10.0)
本脆弱性の CVSS 基本値			10.0

(2)CVSS 基本値の評価内容

AV:攻撃元区分	□ ローカル	□ 隣接	■ ネットワーク
AC:攻撃条件の複雑さ	□ 高	□ 中	■ 低
Au:攻撃前の認証要否	□ 複数	□ 単一	■ 不要
C:機密性への影響	□ なし	□ 部分的	■ 全面的
I:完全性への影響	□ なし	□ 部分的	■ 全面的
A:可用性への影響	□ なし	□ 部分的	■ 全面的

■:選択した評価結果

AV:AccessVector,AC:AccessComplexity,Au:Authentication,C:ConfidentialityImpact,I:IntegrityImpact,A:AvailabilityImpact

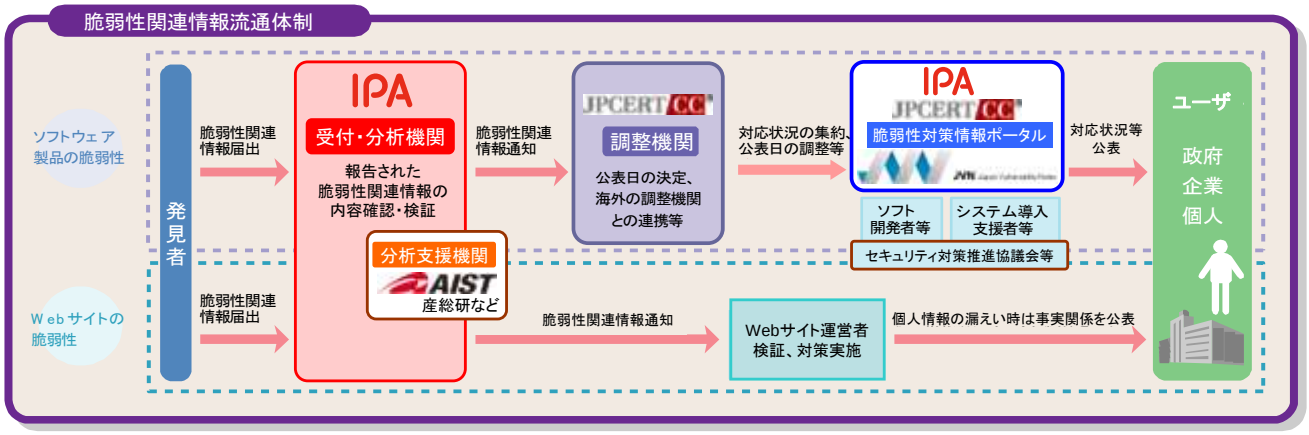
5. 本脆弱性の CWE(*3)分類

本脆弱性の CWE 分類は、「バッファエラー （CWE-119）」です。

6. 参考情報

(1)「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」について

ソフトウェア製品およびウェブサイトの脆弱性対策を促進し、コンピューターウイルスやコンピューター不正アクセス等によって、不特定多数のコンピューター（パソコン）に対して引き起こされる被害を予防するため、経済産業省の告示に基づき、官民の連携体制「情報セキュリティ早期警戒パートナーシップ」を整備し運用しています。



※IPA:独立行政法人 情報処理推進機構、JPCERT/CC:一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター、産総研:独立行政法人 産業技術総合研究所

■ 本件に関するお問い合わせ先
IPA 技術本部 セキュリティセンター 渡辺／大森
Tel: 03-5978-7527 Fax: 03-5978-7518 E-mail: vuln-inq@ipa.go.jp
■ 報道関係からのお問い合わせ先
IPA 戦略企画部 広報グループ 横山／大海
Tel: 03-5978-7503 Fax: 03-5978-7510 E-mail: pr-inq@ipa.go.jp

(*1) 脆弱性の深刻度評価の新バージョン CVSS v2 への移行について。http://www.ipa.go.jp/security/vuln/SeverityLevel2.html
(*2) Common Vulnerability Scoring System。共通脆弱性評価システム。http://www.ipa.go.jp/security/vuln/CVSS.html
(*3) Common Weakness Enumeration。共通脆弱性タイプ一覧。http://www.ipa.go.jp/security/vuln/CWE.html